

マリンパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MPK-DVF

はじめに

主な特長

本機はソニーのデジタルビデオカメラレコーダーDCR-TRV7、DCR-TRV9およびDCR-TRV900にお使いいただけるマリンパックです。

- 水深75mまでの撮影が可能。
- 水中での電源の入/切、録画スタート/ストップ、オートフォーカスの入/切、フォトモード撮影(DCR-TRV9およびDCR-TRV900のみ)、ズームなどの操作が可能。
- LCDモニター搭載。

必ずお読みください

- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、正常に動作するか、また水漏れがないかを確認してから潜水を始めてください。
- 万一、マリンパックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材(ビデオカメラレコーダー、バッテリーなど)の損害、記録内容および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。
- マリンパックおよび内部機器に対するソニー水中機材用損害保険をご用意しております。案内書をお読みのうえ、加入されることをおすすめします。



純正マーク

このマークはソニー(株)ビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。ソニー(株)のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

目次

⚠警告・⚠注意	4
付属品を確かめる	6

準備

準備する	7
ビデオカメラレコーダーを準備する	7
マリンパックを準備する	8
ビデオカメラレコーダーを取り付ける	10

操作

撮影する	14
水中撮影の条件	16
ビデオカメラレコーダーを取りはずす	17

その他

○リングについて	19
取り扱い上の注意	20
お手入れと保管	21
各部のなまえ	22
主な仕様	23
保証書とアフターサービス	裏表紙


警告 安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐためにつぎのことを必ずお守りください。

- 安全のための注意事項を守る
- 故障したら使わずに、お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する
- 万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- ① 電源を切る
- ② お買い上げ店または、ソニーサービス窓口 に修理を依頼する

 **警告** 下記の注意事項を守らないと、事故により死亡や大けがの原因となります。

潜水中の使用は周囲の状況を把握し、安全に充分注意を払う

注意を怠ると、潜水事故の原因となります。



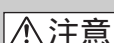
注意

万一、マリンパックに水漏れが発生した場合

浮上時の減圧時間を守り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。



注意

 **注意** 下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

陸上で運ぶときに落とさない

けがの原因となることがあります。



禁止

衝撃を与えない

ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。



禁止

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号



禁止

行為を指示する記号



注意

電池についての安全上のご注意



下記の注意事項を守らないと火災・破裂により死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この項目はバッテリーパックのみに適用となります。

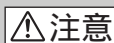
- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオープンで加熱しない。コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。



下記の注意事項を守らないと火災などにより死亡や大けがの原因となります。



- 火のそばや炎天下などに放置したり、充電したりしない。
- ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させるなどの強い衝撃を与えない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

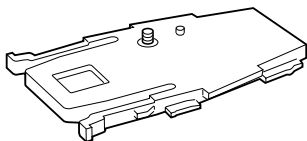


下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

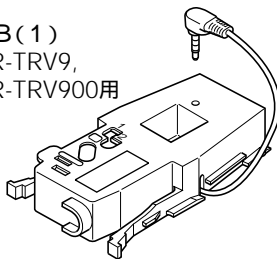
- 乾電池は+と-の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。
- プラグのついたバッテリーパックはぬれた手でさわらない。感電の原因となることがあります。

付属品を確かめる

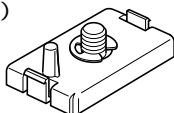
- 台座A(1)
DCR-TRV7用



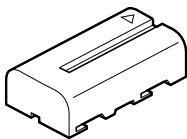
- 台座B(1)
DCR-TRV9,
DCR-TRV900用



- ネジプレート(1)
(台座B用)



- モニター用バッテリー
(NP-F330)(1)



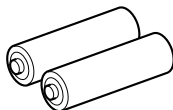
- Oリング(1)



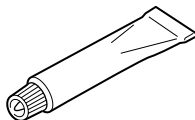
- ネジ回し金具(1)
台座Bに付属



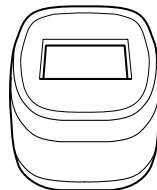
- 単3型乾電池(2)



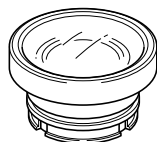
- シリコングリス(1)



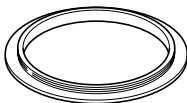
- 遮光フード



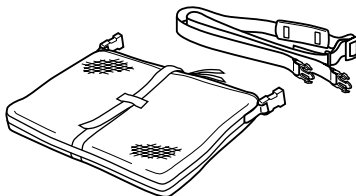
- 水中専用ワイド
コンバージョンレンズ(1)



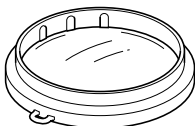
- 反射防止リング(1)



- キャリングバッグ(1)
• キャリングベルト(1)



- カラーフィルター(1)



- バッテリークッション(1)
• 脱落防止用ひも(3)

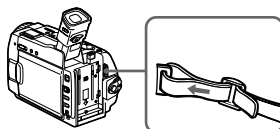
準備する

ビデオカメラレコーダーをマリンバックに取り付ける前に、次の**1**から**3**の準備を行ってください。イラストは限定のない限りDCR-TRV9です。

1 ビデオカメラレコーダーを準備する

お手持ちのビデオカメラレコーダーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 1** ショルダーベルトをはずす。
フィルター、コンバージョンレンズなども取りはずしてください。

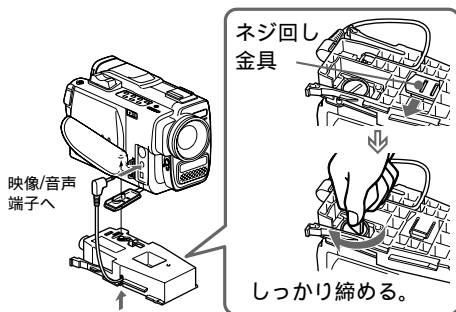


- 2** バッテリーを取り付ける。
十分に充電したバッテリーパックを取り付けてください。

- 3** カセットを入れる。

- 4** ビデオカメラレコーダーのレンズに反射防止リングを取り付ける。
(DCR-TRV7/TRV9のみ)

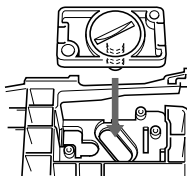
- 5** 台座を取り付ける。
ビデオカメラ底面の三脚用ネジ穴に台座のネジを合わせます。
DCR-TRV9, DCR-TRV900は台座B、DCR-TRV7は台座Aを使用します。
台座Bに「ネジ回し金具」がついていますので、はずしてお使いください。



DCR-TRV9/TRV900

台座Bを取り付けるには

- ①ネジプレートを台座Bに取り付けます。
- ②台座BのAV ケーブルをビデオカメラレコーダーの映像 / 音声端子に接続してください。



台座Bのネジプレート取り付け位置

台座B	1	DCR-TRV9
	2	DCR-TRV900

準備する(つづき)

6 撮影可能な状態にする

①電源スイッチを「カメラ」にする。

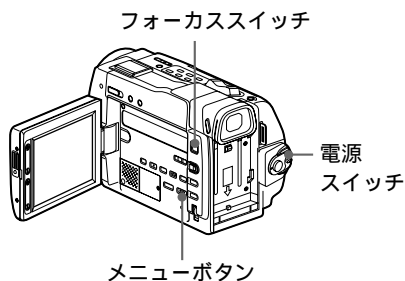
②メニューで「リモコン」を「入」にする。

③ **DCR-TRV9/TRV900**
フォーカススイッチを上げ、
「自動」にする。

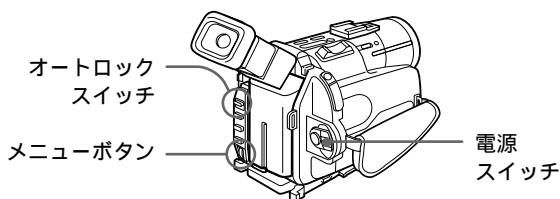
DCR-TRV7

オートロックスイッチを上げ、
「オート」にする。

DCR-TRV9/TRV900



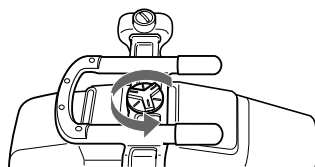
DCR-TRV7



7 DCR-TRV9, DCR-TRV900をお使いのときは、逆光補正、ナイトショット、ピクチャーエフェクト、プログラムAEなどの機能は「切」にしてください。

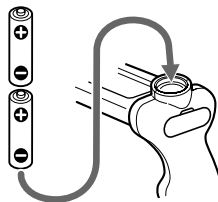
2 マリンパックを準備する

1 グリップをはずす。
グリップ底面のネジを回してはずし
ます。



2 グリップに乾電池を入れる。

- ① コインなどでネジをはずす。
- ② ⊕と⊖の向きを間違えないように付属の乾電池(単3型2個)を入れる。

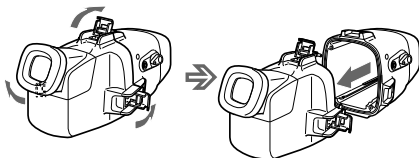


- ③ ネジをしっかりと締める。



3 マリンパックを開ける。

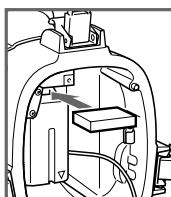
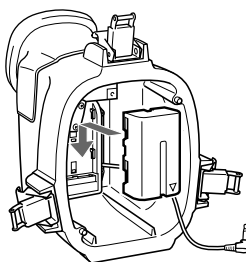
3か所のバックルをはずして、マリンパックを開けます。



4 モニター用バッテリーを取り付ける。

付属のモニター用バッテリー(NP-F330)を後ハウジングに取り付けます。

バッテリーは取り付ける前に十分に充電しておいてください。



ご注意

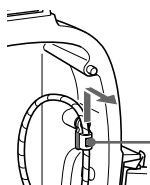
強い衝撃を与えるとモニター用バッテリーがはずれることがあります。付属のバッテリー用クッションを図のように差し込んでください。

準備する(つづき)

3 ビデオカメラレコーダーを取り付ける

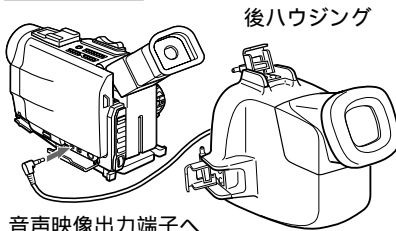
DCR-TRV7をお使いのときはあらかじめモニターコードを音声映像出力端子へ接続する。

このときモニターコードどめははずしてご使用ください。

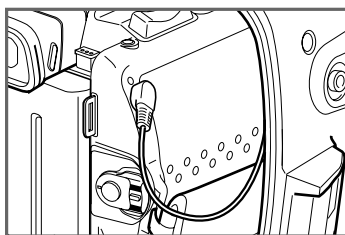


モニターコード止め
上にスライドさせてから手前に
引くとはずれます。

DCR-TRV7



1 リモートコードとマイクコードをつなぐ。

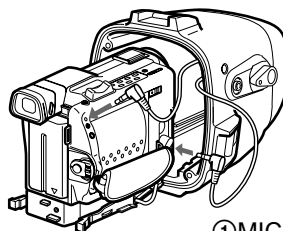


コードがひっかかったり、ねじれたりするのを防ぐため、プラグ類はイラストのような向きに差ししてください。

DCR-TRV9/TRV900

マイクコードをMIC (PLUG IN POWER) 端子へ(①)、リモートコードをLANC (リモート) 端子へ(②) 接続する。

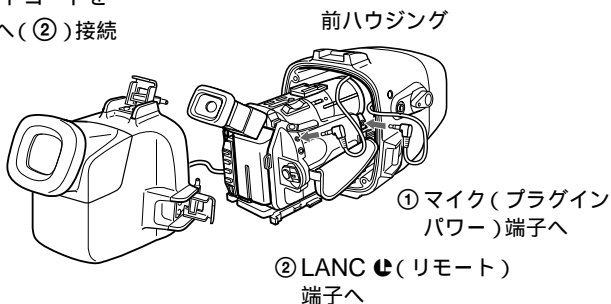
前ハウジング



①MIC (PLUG IN POWER) 端子へ
②LANC (リモート) 端子へ

DCR-TRV7

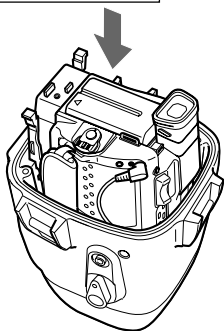
マイクコードをマイク(プラグインパワー)端子へ(①)、リモートコードをLANC Ⓛ(リモート)端子へ(②)接続する。



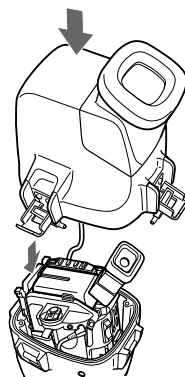
2

マリンパックに取り付ける。
台座をカチッと音がするまで差し込みます。

DCR-TRV9/TRV900

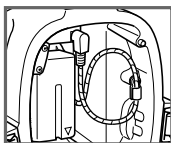


DCR-TRV7



3

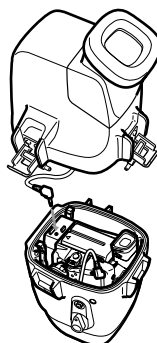
モニターコードをつなぐ。
(DCR-TRV7をお使いのときはこの手順は不要です。)



モニターコードは本体のプラグホルダーにささった状態で出荷されています。

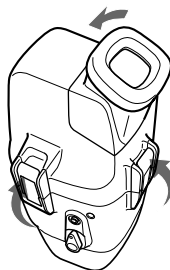
DCR-TRV9/TRV900

モニターコードを台座Bの端子に接続します。

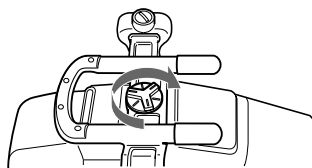


4 ハウジングをしっかり押さえながら3か所のバックルを締める。

コードをはさまないよう充分ご注意ください。水漏れの原因になります。



5 グリップを取り付ける。



これでマリンバックの準備は完了しました。
潜る前に必ず動作チェックを行ってください。

LCDモニターについて

- 準備2の手順4でバッテリーを取り付けても、ビデオカメラレコーダーを取り付けて電源を入れるまで、モニターには何も映りません。LCDモニターは電源の入/切に連動して映ります。
- LCDモニターにカウンターなどの表示を出すには
あらかじめビデオカメラレコーダーのメニューで「画面表示」を「ビデオ出力/パネル」にし、画面表示ボタンを押しておきます。
- LCDモニターに表示される電池残量時間は、ビデオカメラレコーダーに取り付けてあるバッテリーの残量時間です。LCDモニターの使用可能時間ではありません。

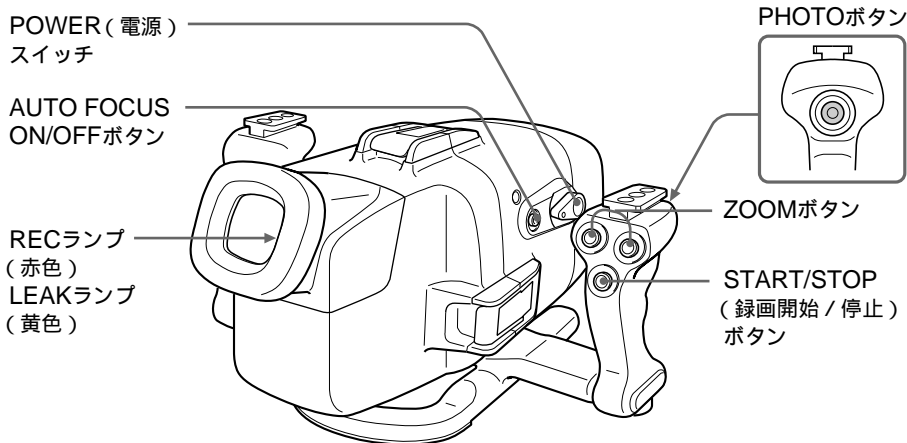
付属バッテリーNP-F330について

- 本機のLCDモニターはインフォリチウムバッテリーの通信機能に対応していません。
- InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーとは
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。DCR-TRV7 / TRV9 / TRV900は“インフォリチウム”バッテリー対応です。“インフォリチウム”バッテリーには(1) InfoLITHIUMマークがついています。InfoLITHIUM(インフォリチウム)はソニー株式会社の商標です。

乾電池について

- 電池の交換時期は約6か月です。
- 乾電池の使い方を誤ると、液漏れや破裂のおそれがあります。次のことを必ずお守りください。
 - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
 - 新しい乾電池を使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
 - 乾電池は充電しないでください。
 - 長い間お使いにならないときは、乾電池を取り出してください。
 - 液漏れしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

撮影する



- 1 POWERスイッチを下げる。
ビデオカメラレコーダーの電源が入ります。

- 2 START/STOPボタンを押して撮影を開始する。
RECランプが点灯します。

撮影を止めるには
START/STOPボタンを押す。

ズーミングするには
ZOOMボタンを押す。
T側を押し続けると徐々に望遠になり、W側を押し続けると徐々に広角になります。
可変速の機能は働きません。

フォトボタンを押すと
押したときに映っている画像(静止画)が記録されます(DCR-TRV9およびDCR-TRV900)。フォトボタンを軽く押して画像を確認することはできません。また、DCR-TRV900ではメモリーフォト撮影はできません。ビデオカメラレコーダーの取り扱い説明書を合わせてご覧ください。

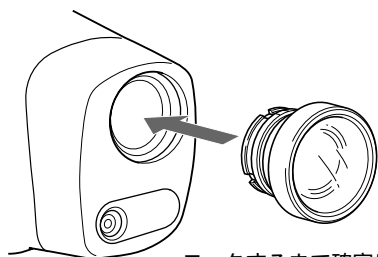
フォーカスを合わせたあと、ずれないようにするには
AUTO FOCUS ON/OFFボタンを押す。
被写体とカメラの間を魚が通っても、フォーカスはずれません。

撮影前のご注意
水中撮影のときは、水深約1mのところで正常に動作するか、水漏れはないか確認してから潜水を始めてください。

撮影中のご注意
グリップとマリンバックの間はワイヤレスリモコンによる操作をしています。指などでさえぎらないようにご注意ください。

ワイドコンバージョンレンズ (付属)を使うには

ワイドコンバージョンレンズを取り付けると被写体は小さくなりますが、撮影できる範囲は広がります。



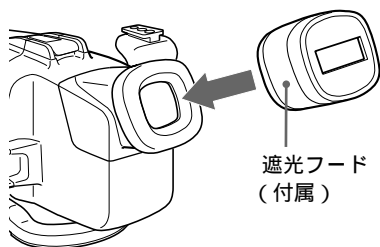
ロックするまで確実に
はめ込みます。

このワイドコンバージョンレンズは水中専用です。

カラーフィルターはワイドコンバージョンレンズの上に取り付けます。

遮光フード(付属)を使うには

LCDモニターが見えづらいときは、付属の遮光フードを取り付けてください。



遮光フード
(付属)

ワイドコンバージョンレンズや遮光フード、カラーフィルターは水中でも取りはずしできます

マリパックとレンズやフィルターとの間に空気が残ってしまったときは、水中でいったんはずしてから付けなおしてください。

水漏れが起きたら

マリパックの防水には万全の措置をとっておりますが、万一水漏れが起きた場合は、LEAK(水漏れ警告)ランプ(黄色)が点滅します。

LEAKランプ(黄色)



水漏れが起きたら、マリパックを水平に保ち、浮上時の減圧時間を守って浮上し、やわらかい布などでマリパックをよく拭いてください。マリパックを開けてリモートコードを抜くと、ランプが消えます。

水漏れが起きたときは、マリパックおよびビデオカメラレコーダーを至急お近くのソニーサービス窓口にお持ちください。

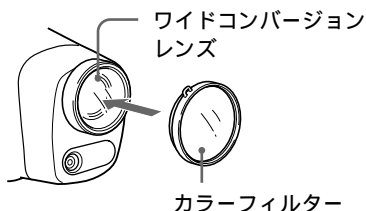
水中撮影の条件

水の中は、水深、水の透明度、光線の状態などの影響を受け、陸上とは異なった撮影条件になっています。以下の基本的な条件をよく理解して、楽しいビデオプログラムを制作してください。

水中での色は

水は光を吸収する性質を持っています。特に赤系統の色は吸収されやすく、青系統の色は吸収されにくいので、水深の深いところや遠くにあるものは青みがかってみえます。

実際の色に近い色で撮影したいときは、付属のカラーフィルターをお使いください。



撮影に適した時間は

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。

太陽の光が届きにくい場所での撮影や夜間の撮影には、強力な水中ビデオライトをお使いください。

水中での物の大きさは

水中では水の屈折率が大きいため、陸上より約1/4距離が近くに、また実際より物が1割ほど大きく見えます。この現象は、人間の目のレンズだけでなく、ビデオカメラのレンズにとっても同じです。水中ではレンズの撮影画角（画面に入る範囲）が狭くなりますので、もともと広い範囲が写せるワイドコンバージョンレンズ（付属）の使用が有効です。

安定した体勢でゆっくりとしたカメラワークを

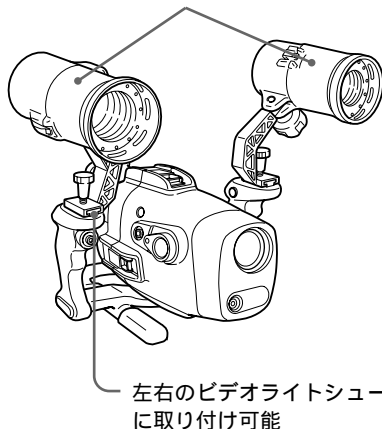
安定した姿勢で撮影してください。ちょっとしたゆれも、あとでテレビ画面で見ると拡大され、見苦しくなってしまうことがあります。

ビデオカメラレコーダーはできるだけゆっくり動かしてください。被写体の方が動いてくれますので、いろいろなテクニックを使わず、じっと構えているだけでも、魅力的なプログラムを作ることができます。

水中ライトについて

水深の深いところや岩棚の下など、太陽光が直接届かないところでは、水中ビデオライトを使うことをおすすめします。

水中ビデオライト
HVL-ML20など
（別売り）



水中撮影のご注意

- ・ 潜水時間・潜水深度など、基本的な潜ルールは必ず守ってください。
- ・ 撮影の前にフロントガラスの外面上についている水泡を取り除いてください。

ビデオカメラレコーダーを取りはずす

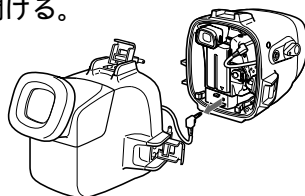
最初にマリパックを水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴を拭き取ってから開けてください。また、体や毛髪についた水滴、ウェットスーツのそで口から出る水がビデオカメラレコーダーにかからないようご注意ください。

1 グリップをはずす。

2 バックルを3か所外してマリパックを開ける。

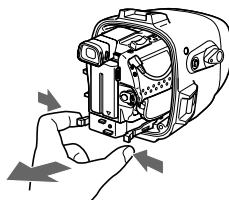
DCR-TRV9/TRV900

モニターコードを台座Bからはずす。

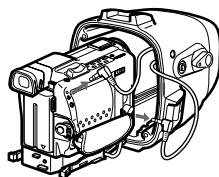


3 台座を引き出す。

台座を引き出す時に、ケーブル類を無理に引っぱらないようご注意ください。



4 リモートコード、マイクコードをはずす。



5 モニターコードをはずす。

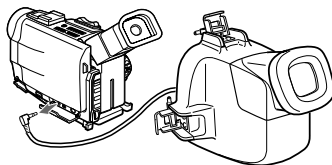
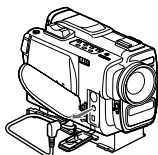
モニター用のバッテリーも取り外してください。

DCR-TRV9/TRV900

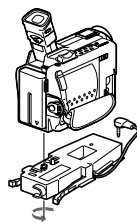
台座BのAVケーブルをビデオカメラレコーダーの映像 / 音声端子からはずす。

DCR-TRV7

モニターコードをビデオカメラレコーダーの映像 / 音声端子からはずす。

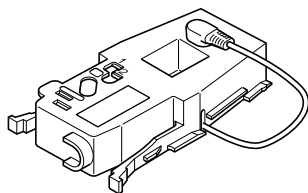


6 台座を取りはずす。

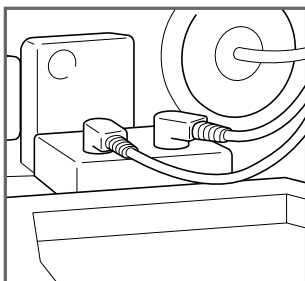


ご使用後は

- 台座BのAVケーブルは台座のホルダーに差ししておく。



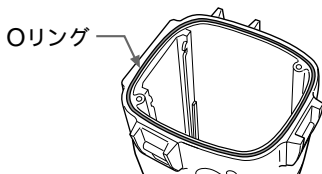
- 本機のリモコンプラグとマイクプラグは、前ハウジング内側のコードホルダーに差ししておく。



Oリングについて

本機はOリングを使用して防水性を保っています。Oリングの機能を十分に生かすため、次の点にご注意ください。

Oリングの取り扱いが不適切だと浸水の原因になります。



Oリングに傷やヒビ割れはありませんか

傷、ヒビ割れは浸水の原因になります。直ちに付属のOリングと交換してください。Oリングをはずすときにとがったものや金属を使うと、溝に傷がつくおそれがありますので、使用しないでください。また、Oリングを取り付けるときはねじらないように注意してください。

ゴミや砂、毛髪は防水の大敵です

Oリング、溝、Oリング接触面に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確認してください。ついている場合は、きれいに取り除いてください。

そのままバックルを締めると、Oリングや接触面に傷がつき、浸水の原因になります。

グリスを塗りましょう

グリスはOリングの表面を保護し、磨耗を防ぎます。

Oリングに傷やゴミ、ホコリなどがついていないことを確認してから、付属のシリコングリスを指先で全面に薄く塗ってください。このとき、指先で傷やゴミのないことを再確認してください。

布や紙にシリコングリスをつけて塗ると、繊維がOリングに付着することがありますので使わないでください。

付属のシリコングリス(2-115-921-01)がなくなったら、ソニーサービス窓口にてお問い合わせください。

前後ハウジングを合体するときは

Oリングが溝からはずれないことを確認してから前後のハウジングを合わせてください。Oリングをさみ込むと、傷がつくだけでなく、浸水の原因にもなります。

Oリングの保管は

予備のOリングは、梱包箱に入れたまま直射日光のあたらない涼しい場所に保管してください。重いものをのせたり、小さく折り曲げたりしないでください。

Oリングの耐用年数は

使用回数や保存状態などで変わりますが、1~2年くらいです。

Oリング(3-977-362-01)はソニーサービス窓口でお問い合わせください。

取り扱い上の注意

- 海辺や海上でのマリンバックの開閉は、できるだけ避けてください。ビデオカメラレコーダーの取り付けなどの準備は、湿気の少ない、潮風のあたらない場所で行ってください。
- マリンバックを水中に投げ込まないでください。
- 次の場所でのご使用は避けてください。
 - 高温多湿な場所
 - 炎天下結露やビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。また、直射日光のあたるところにおく場合は、タオルなどを上からかけておいてください。

ビデオカメラレコーダーについて

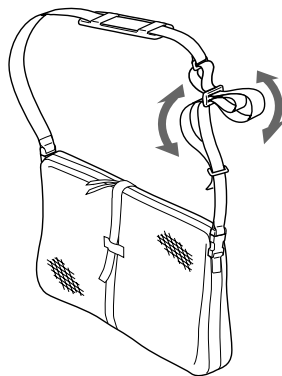
- バッテリーはできるだけ容量の多いものをお使いください。また、お使いになる前に十分に充電をしておいてください。
- 万一水漏れが起きたとき、またはビデオカメラレコーダーに水がかかったときは、直ちにお近くのソニーサービス窓口にお持ちください。
- 海で長時間お使いになったあとは、ソニーサービス窓口で点検を受けることをおすすめします。

マリンバックを運搬するときは

- ビデオカメラレコーダーは、マリンバックから取り外してください。取り付けのまま運搬すると、ビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。
- 前ハウジング内側にある穴(コードホルダー)に、リモコンコードとマイクコードを差し込んでください。

付属キャリングバッグをお使いになるときは

キャリングベルト(付属)を取り付け、ベルトの長さを調節してください。



運搬するときは、衝撃や傷などを避けるため、マリンバックをタオルなどでくるむことをおすすめします。

お手入れと保管

ご使用後は

マリパックに塩分がついたままにしておきますと、金属部分がさびたり、操作つまみの動きが悪くなったりします。海中撮影後は、バックルをはずす前に水道水または真水にしばらく浸して、マリパックやフィルター、ワイドコンバージョンレンズについた塩分を充分に取り除いてください。

その後、マリパック内部やビデオカメラレコーダーを、乾いたやわらかい布でよく拭き、水分を取ってください。

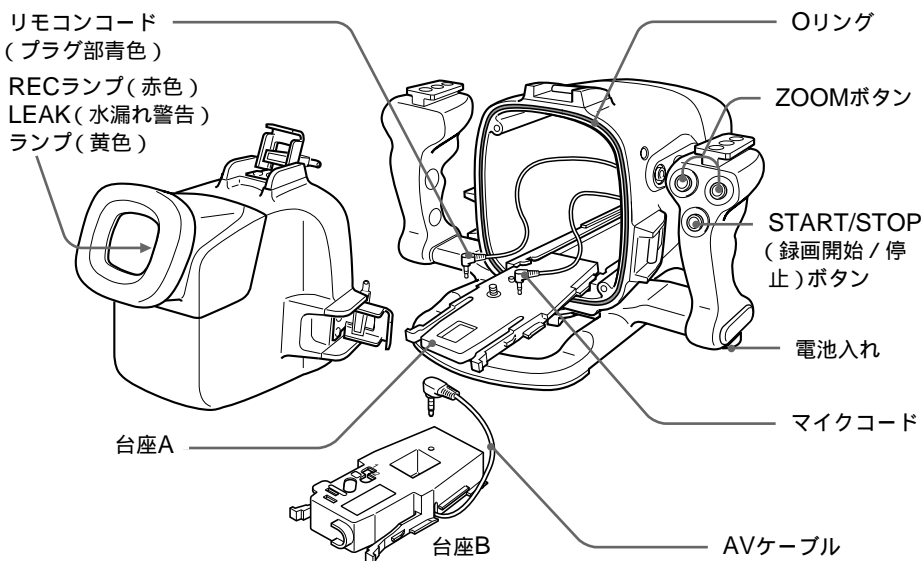
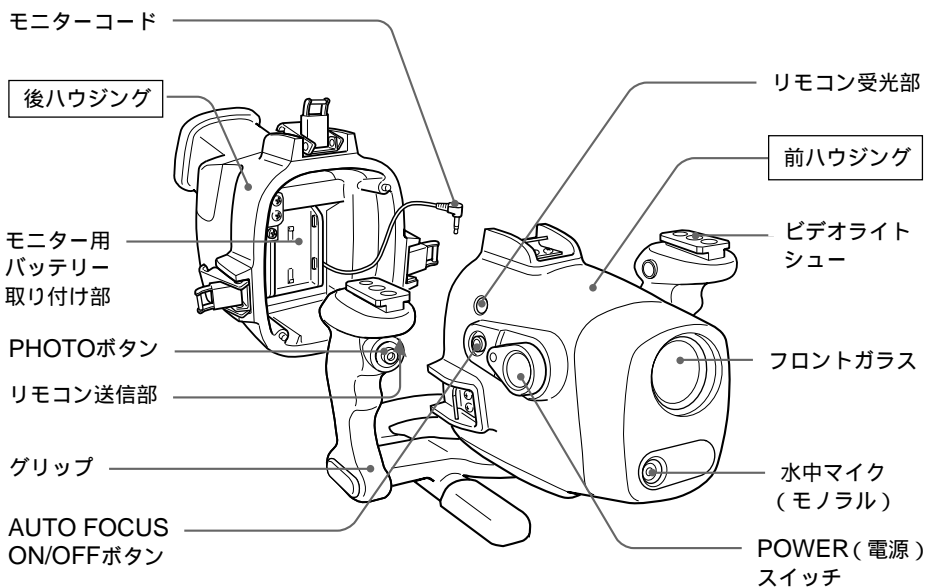
お手入れはマリパックをご使用のたびに必ず行ってください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので、使わないでください。

保管するときは

- Oリングにシリコングリスを薄く塗って溝にきちんと入れ、風通しのよい涼しいところに置いてください。このときバックルは締めないでください。
- 高温、多湿、極端に気温の低い場所や、ナフタリン、樟腦の入った場所での保管は、機材をいためますので避けてください。

各部のなまえ



主な仕様

材質

アルミニウム合金、ガラス、プラスチック (ABS、PC)

防水構造

Oリング圧着式、3バックル

耐圧

水深75 mまで

水中マイクロホン

コンデンサーマイクロホン (モノラル)

外部より操作可能な機能

電源入/切、録画開始/停止、オートフォーカス入/切、電動ズーム
フォト撮影 (DCR-TRV9, DCR-TRV900)

最大外形寸法

約297×212×318 mm
(幅/高さ/奥行き)

質量

約4.2 kg (本体のみ)

付属品

台座 (2)
ネジプレート (1)
ネジ回し金具 (1)
ワイドコンバージョンレンズ (1)
カラーフィルター (1)
モニター用バッテリー (NP-F330) (1)
単3型乾電池 (2)
シリコングリス (1)
Oリング (1)
遮光フード (1)
反射防止リング (1)
脱落防止用ひも (3)
バッテリークッション (1)
キャリングバッグ (1)
キャリングベルト (1)
取扱説明書 (1)
保証書 (1)
ソニーご相談窓口のご案内 (1)
水中機材用損害保険のご案内 (1)

別売りアクセサリ

水中ビデオライト (HVL-ML20)

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 保証書は日本国内のみ有効です。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

耐水圧試験、および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。また、ご希望により耐水圧試験を行う場合は、有料となります。

当社ではマリンパックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名：MPK-DVF

故障の状態：できるだけ詳しくお買い上げ日

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

Sony online

<http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーの電子デバイスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan